

## 挨拶の意味

本校の「きせきのあじさい」もつぼみがつき始めましたが、その開花を待つことなく、例年になく早い梅雨入りで、雨の日や気温の寒暖差が大きい日が多くなっています。体調を崩しやすい時期ですので、体調管理にはくれぐれも気をつけていただきたいと思います。

先日の政府発表で、緊急事態宣言が延長されました。それに伴い6月に予定していた参観日、今年度の水泳学習を中止とし、5年生の野外学習も7月に延期をさせていただきました。お忙しい中予定を入れ、参観を心待ちにされていた保護者の皆様、今年はプールに入れると楽しみにしていた子どもたちの気持ちを思うと、心苦しく申し訳ない思いでいっぱいですが、感染防止を第一に考えての決断とご理解いただければ幸いです。

さて、本校では「うれしい気持ちがあふれるあいさつ」を目標に、全校で挨拶に力を入れています。朝、校門前では、本部学代の児童が挨拶運動に取り組み、今月は「SAP(サップ)」（S:詳徳 A:あいさつ P:プロジェクト）を計画しています。挨拶はコミュニケーションには欠かせない大切なものですが、「挨拶」の語源は「挨」（押す、開く、等の意味）「拶」（せまる、寄る、近づく等の意味）を合わせた「押して近づく」という意味で、もともとは相手に言葉を投げかけ、その返答から、相手がどれくらい修行が進んでいるのか、悟りの深さを計る「一挨一拶」という禅語から派生したそうです。「相手の心に近づく」という本来の意味を考えると、「おはよう」「いらっしゃいます」「いただきます」等、短い言葉であっても、声の大きさやトーン、抑揚から「今日は元気がないな」「体調が悪いのかも」「何かいいことがあったのかな」と言葉以外のものを受け取っていることにも納得できます。

心身ともに成長期の子どもたちにとっては、心のバロメーターとして挨拶を捉え直すことも大切かもしれません。挨拶をとおして心の変化に気づければ、「何か心配なことがあるの?」「楽しかったこと話してほしいな」等、さらにコミュニケーションが深まります。

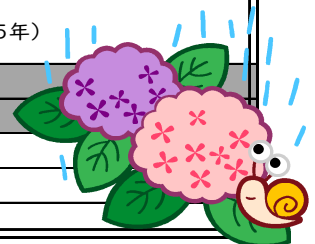
人間関係の基盤となる挨拶、その大切さを子どもたちに教えるためには、私たち大人が、挨拶の良さを子どもたちに実感させることが必要です。SAPの取組をとおして、発達段階に合わせながら、挨拶の意味を子どもたちとともに考えていきたいと思ひます。ご家庭においても、ぜひこの期間に、もう一度挨拶を見直してみたいはいかがでしょうか。

校長 平井 眞理子

## 6月行事予定

【 】は下校時刻

日 曜	校 内 行 事	日 曜	校 内 行 事
1 火	登校指導 クラブ	16 水	
2 水	体重測定(高)	17 木	緊急地震速報訓練 トライアル学習開始
3 木	体重測定(中)ミニ集会	18 金	
4 金		19 土	
5 土		20 日	
6 日		21 月	SAP(詳徳挨拶プロジェクト)開始(~25日)
7 月	人権旬間 こころの相談週間 ヘルマーク強化週間	22 火	クラブ なかよし班開き
8 火	児童委員会 体重測定(低)	23 水	短縮5校時【13:55】 非行防止教室(6年) 選書会
9 水	心臓2次検診 検尿(再検査)	24 木	ミニ集会 選書会
10 木	視力検査(3・4年) 短縮6校時【1・3年:13:55 2・4・5・6年:14:50】	25 金	選書会 野外学習説明会(5年)
11 金		26 土	
12 土		27 日	
13 日		28 月	
14 月	学校諸費振替日	29 火	
15 火		30 水	



行事は変更されることがありますので、学年便りなどでご確認ください。

